

オーロラ



今月のオススメ本

『こねこのプーフー』シリーズ

アン & ゲオルグ・ハレンスレーベン/作 小学館/刊

今月は、これから始まる春の季節のように心がぼかぼかするかわいらしい絵本を紹介します。

この本は、「リサとガスパール」や「ペネロペ」で一躍大人気となったハレンスレーベン夫婦作の絵本です。

主人公はやさしくて愛らしくて、そして夢みがちなこねこのプーフー。ふわふわのグレーの毛並がとってもキュートな男の子です。

夜、寝る前になるとプーフーはお父さんお母さんに今日あったこととお話しします。

「さあプーフー、おやすみなさいのじかんだよ」

「まって！きょうね、すごいことがあったんだよ！」

そのお話はどれも夢のようなお話ばかり。

やさしいタッチのとってもかわいい絵も相まって、プーフーのお話を聞いて読み進めていくうちに、夢の世界にいるような、そしてほんわかした気持ちになっていきます。

プーフーだけでなく、おともだちのこねこたちも目が離せないかわいさです。

3月、これから忙しい時期を迎えますが、お子さんだけでなく大人のみなさんも一緒にプーフーに癒されてみませんか？

季節が春を迎えるように、とってもあたたかい気持ちになっていく。そんな1冊です。

♪こねこのプーフーシリーズは1～6巻までが中央図書館にあります。(2/28現在) ぜひ手にとってみてください。

平成29年3月1日

No.276

北見市立中央図書館

TEL 0157-23-2074

(貸出・返却カウンター)

FAX 0157-23-9693



分館・分室だより

分館・分室のおすすめ本を紹介します！

東分館

春光町6丁目1-22 電話:61-7147

「北海道民あるある」

荒井宏明/著 にゃほこ/画 T O ブックス/刊

「郷土愛がなまら深い」「冬の朝はフロントの霜取りから」「節分はピーナッツ」など、北海道民ならきっと共感する納得の「あるある」から、「コンビニの駐車場がやたらでかい」「回転寿司でうまさすぎる寿司を食べている」など、住んでいるとなかなか気づかない「あるある」まで、北海道がもっと好きになる1冊です。



緑地区分館

双葉町1丁目2-2 電話:36-4841

「おいしそうなしろくま」

柴田ケイコ/絵・作 PHP 研究所/刊

この本はおいしいものを食べるのが大好きなしろくまが「たべもののなかにはいつてみたら、どんなかんじかな？」と想像してみる絵本です。ごはんの中やたまご焼き、うどんにいたっては揚げをふとんにして寝てしまいます。みなさんがもし、たべものの中に入るとしたら何に入りたいですか？インパクトのあるしろくまの顔とユーモラスなポーズのギャップもぜひ味わって下さい。



上ところ分室

上ところ682番地1 電話:38-2644

「一日だけうさぎ」

原知子/ぶん こばようこ/え くもん出版/刊

朝、鏡を見ると私はけむくじゃらだった。今日は1年に1日だけお父さんやお母さん、そして町のみんながうさぎになってしまふ「うさぎの日」。今日の授業は、ぜんぶ体育。ドッジボールをしようとしたら、手が短くてボールをなげられなかった。給食は野菜しかたべられなかった。お父さんはうさぎだから会社のみんなになでなでされた。こんな楽しいお話をつくったのは、うさぎが大好きな小学3年生の女の子です。うさぎと話してみたくて、うさぎになってみたいと思い書いたお話のなかに入って、人間のときにはわからないことを感じてみませんか？



相内分室

相内町109番地3 電話:35-3066

「こうじ甘酒レシピ作りおき」

伏木暢頭/著 小学館/刊

10万人に発酵料理を伝えてきた著者による、甘酒を使ったレシピ本です。甘酒は、みそ・しょうゆ・納豆などと並ぶ日本の代表的な発酵食品です。アルコールはゼロなので、赤ちゃんも妊婦さんもOK。本書はしょうがやごまなど、女性にうれしい食材と甘酒で簡単に作れる“マスターだれ”6種を主要レシピとして紹介しています。甘酒で不調知らずのからだを手に入れませんか？



東相内分室

東相内町288番地15 電話:36-4286

「『もち麦』で腸イキイキ革命！」

松生恒夫/著 日本文芸社/刊

もち麦飯で毎日スッキリ。

いま話題の「もち麦」の食物繊維含有量は、玄米より上回り、便秘改善・ダイエット・生活改善・メタボの予防と改善にも効果があるようです。腸免疫力も高め「食物の王様」ともいわれる食材でぜひこの本を読まれ食卓でもち麦を取り入れてみてはどうでしょうか。



中央図書館 3月の行事

○こども向け上映会(会場:多目的視聴覚室)

とき:3月11日(土)11:00~

作品:「こねこのピッチ」ほか

とき:3月25日(土)11:00~

作品:「げんきげんき/ハンタン」ほか

○レコード鑑賞会(会場:多目的視聴覚室)

とき:3月25日(土)13:30~15:00

2月に入った新しい本

■中央図書館

「飾らず、偽らず、欺かず」(田中伸尚)
「私をくいとめて」(綿矢りさ)
「シャクシャインの戦い」(平山裕人)
「緑の髪の娘」(スタンリー・ハイランド)
「ラプンツェル」(グリム)

■東分館

「ゲッターズ飯田の縁のつかみ方」
(ゲッターズ飯田)
「クラウドガール」(金原ひとみ)
「くまくまちゃん」(高橋和枝)
「源氏姉妹(しすたあず)」(酒井順子)
「それでもこの世は悪くなかった」(佐藤愛子)

■東相内分室

「いしばしなおこのきせかえ折り紙あそび」
(いしばしなおこ)
「小説おそ松さん 後松」(赤塚不二夫)
「12歳。ちっちゃなムネのトキメキ8」
(綾野はるる)
「さようなら童生、こんにちは人生8」
(永島ひろあき)
「紙で作るミニチュアフード」(内藤貴子)

■留辺薬図書館

「イラストでわかる日本の伝統行事・行事食」
(谷田貝公昭)
「花を呑む」(あさのあつこ)
「探偵は女手ひとつ」(深町秋生)
「使える裏ワザ教えちゃいます」(河元智行)
「ねえねえ、なんで？」(高島大)

■相内分室

「お師匠さま、整いました！」(泉ゆたか)
「北海道の怖い話」(寺井広樹)
「香菜子さんの服えらび。」(香菜子)
「ようかいとりものちょう6」(大崎悌造)
「あいすくりーむにありをのせたらあいうえお」
(accototo)

■端野図書館

「偉人を育てた母の言葉」(大坪信之)
「中央銀行は持ちこたえられるか」(河村小百合)
「ネコと昼寝」(群ようこ)
「テレビじゃ言えない」(ビートたけし)
「ルルとララのアロハ！パンケーキ」
(あんびるやすこ)

■緑地区分館

「鴻池剛と猫のぼんたニャアアアン!2」
(鴻池剛)
「ヤセたければ、腸内「デブ菌」を減らしなさい!」
(藤田紘一郎)
「鴨川食堂おまかせ」(柏井壽)
「未来への扉」(小林深雪)
「クマですが、イヌです」(ダイアン・フォックス)

■上ところ分室

「給食のおばさん、プーたんへ行く！」(平澤さえ子)
「かぐや姫はいやな女」(椎名誠)
「コクヨのシンプルノート術」(コクヨ株式会社)
「またおこられてん」(石川えりこ)
「かあさんのまほうのかばん」(なかざわくみこ)

■常呂図書館

「ダーリンは71歳」(西原理恵子)
「その後の慶喜」(家近良樹)
「なぜアマゾンが1円で本が売れるのか」(武田徹)
「きょうはやきにく」(いとうみく、小泉のみ子)
「ぶつからないクルマのひみつ」(山口育孝)

新刊は、掲載している以外にもたくさんあります。ぜひ各館でご覧下さい。



耳で味わう名作文学

竹西寛子「挨拶」(35分)

吉村昭「梅の蕾」(45分)

平成29年3月4日(土)

開演 14時～15時30分

定員 80人 (※入場無料)

朗読 熊谷百合子

会場 市立中央図書館 多目的視聴覚室

声優 土田玲央 (北見出身)

トーク&朗読会

平成29年3月19日(日)

開演 14時～15時30分

前売券 大人700円(当日800円)

中高生500円 小学生200円

チケット販売 北見市内図書館 福村書店

会場 市立中央図書館 多目的視聴覚室

休館日と開館時間

■中央図書館

休館日：6日・13日・20日・27日・31日

開館時間：火～金曜／9時30分～20時

土・日・祝／9時30分～18時

■上ところ分室・相内分室・東相内分室

休館日：6日・13日・20日・21日・27日

開館時間：火～日曜／13時～17時

■常呂図書館

休館日：6日・13日・20日・21日・27日

開館時間：火～土曜／9時～20時

日曜／9時～17時

■東分館・緑地区分館

休館日：6日・13日・20日・21日・27日

開館時間：火曜／13時～17時

水～日曜／9時30分～17時

■端野図書館

休館日：6日・13日・27日

開館時間：火～日曜／10時～17時

■留辺蘂図書館

休館日：6日・13日・20日・21日・27日・31日

開館時間：火～日曜／10時～18時

読み聞かせ日程

<中央図書館>

- ◆5日(日)11時～/ころぼっくる
- ◆11日(土)14時～/自作紙芝居の会
- ◆12日(日)11時～/お話の会
- ◆19日(日)11時～/ころぼっくる
- ◆26日(日)11時～/お話の会

<東分館>

- ◆16日(木)11時～/シロクマ

<留辺蘂図書館>

- ◆4日(土)14時～/あのね
- ◆11日(土)14時～/あのね
- ◆18日(土)14時～/あのね
- ◆25日(土)14時～/あのね